

# 資料 1

～令和5年度 第1回協議会 開催結果（概要）～

## 令和5年度 第1回 環瀬戸内海地域交流促進協議会

### 開催結果（概要）

1. 日 時 令和5年8月3日（木） 13:30～15:30
2. 方 法 対面（サンポート北館 13階 1306・1307）+WEB 併用
3. 出 席 者 別紙のとおり
4. 議事内容 (1) 設置要綱の改訂  
(2) 令和4年度 第2回協議会開催結果（概要）  
(3) 各団体の取組成果・取組予定  
(4) 短期目標の総括・今後の取組方針（案）

#### 5. 主な意見

- 今後は、数字を意識しつつ、供給サイドの人手不足の問題も恒常的にあるため、それぞれの地域が観光資源の磨き上げを行い、単価の高い、**収益性の高い観光への取り組みを強化**していき、**持続性ある対策に取り組んでいく必要**がある。
- 環境が整って観光客が増えたときに、**受入体制の方が取れているのかというところにもある程度、頭に置いておく必要**が出てくる。
- 非常に**いい状況になって来たときにそれに耐えられる受け入れ体制の整備**について、**集客・誘客と同時に考えていく必要**がある。
- **観光客が増えても受け入れるキャパシティー、人手不足**という話もあり、お客様は結構増えてきていて、予約も満タンに来るが、従業員を確保できないので、8割ぐらいで予約を押えているという話もよく聞く。**賑やかになればなるほど人材不足が深刻**になっていくので、観光に関しては、広い目線で見ると、その辺りも一緒に考えていく必要がある。
- **トイレの洋式化についても大事なことで進めていくべき**と思うし、そもそもの**数が足りているか**という話もある。
- **2025年大阪・関西万博、あるいは瀬戸内国際芸術祭**といったものを中心に、**起爆剤として観光需要の回復**に向かっていきたいと考えている。
- 今回、多くの県や本四高速の「Setouchi Velo」など、サイクリングに関する取り組みの報告が今まで以上に多くあった。サイクリングはこれまでも力が入っていて前回から連携がテーマになっていたが、今回も連携の話が多く、これだけ

盛り上がっているので、「サイクリング」を一つのキーワードとして、やっていければいいと感じる。

- 瀬戸内海が日本で初めて国立公園に指定され、来年で90周年を迎えるにあたり、岡山、香川だけでなく、瀬戸内をもっと広く連携してもいいのかと感じる。
- 西日本高速道路㈱の取り組みで市町など自治体との連携を紹介してほしいと報告されていたので、各県におかれては市町村へPRして連携していただくよう伝えていただければと思う。

# 令和5年度 第1回環瀬戸内海地域交流促進協議会 委員及び出席者名簿

令和5年8月3日(木)13:30~15:30

委員名簿			出席者	
団体名	役職	氏名	役職・氏名	
四国経済連合会	会長	さえき はやと 佐伯 勇人	四国経済連合会会長	さえき はやと 佐伯 勇人
四国経済連合会	観光振興委員会 委員長	やまもと ふみあき 山元 文明	(欠席)	
四国経済連合会	産業振興委員会 委員長	おおつか いわお 大塚 岩男	四国経済連合会 産業振興委員会 委員長	おおつか いわお 大塚 岩男
(一社)中国経済連合会	会長	しみず まれしげ 清水 希茂	【代理】(一社)中国経済連合会常務理事	やまもと しんじ 山本 晋司
兵庫県	副知事	はっとり ようへい 服部 洋平	(欠席)	
岡山県	副知事	よこた ゆうじ 横田 有次	【代理】岡山県 土木部都市局長	にしぎわ ようこう 西澤 洋行
広島県	副知事	たまい ゆうこ 玉井 優子	広島県 副知事	たまい ゆうこ 玉井 優子
徳島県	副知事	しだ としお 志田 敏郎	【代理】徳島県 政策監	たにもと えつひさ 谷本 悦久
香川県	副知事	おおやま さとし 大山 智	香川県 副知事	おおやま さとし 大山 智
愛媛県	副知事	たなか ひでき 田中 英樹	愛媛県 副知事	たなか ひでき 田中 英樹
高知県	副知事	いのうえ ひろゆき 井上 浩之	【代理】高知県 土木部長	おぎの ひろゆき 荻野 宏之
四国運輸局	局長	いしはら のりお 石原 典雄	【代理】四国運輸局 観光部長	おぐら かずひと 小倉 一仁
中国地方整備局	局長	なかざき たけし 中崎 剛	【代理】中国地方整備局 副局長	いわさき よしひさ 岩崎 福久
四国地方整備局	局長	ささき よしみつ 佐々木 淑充	四国地方整備局 局長	ささき よしみつ 佐々木 淑充
本州四国連絡高速道路(株)	代表取締役社長	ごとう まさお 後藤 政郎	本州四国連絡高速道路(株) 代表取締役社長	ごとう まさお 後藤 政郎
西日本高速道路(株) 四国支社	支社長	ふかわ かつまさ 布川 勝正	西日本高速道路(株) 四国支社 支社長	ふかわ かつまさ 布川 勝正
西日本高速道路(株) 中国支社	支社長	あかまつ くにやす 赤松 邦康	西日本高速道路(株) 中国支社 支社長	あかまつ くにやす 赤松 邦康

令和5年度 第1回 環瀬戸内海地域交流促進協議会における委員の主な意見及び対応状況

意見内容	対応状況	
<p>今後は、数字を意識しつつ、供給サイドの人手不足の問題も恒常的にあるため、それぞれの地域が観光資源の磨き上げを行い、単価の高い、<b>収益性の高い観光への取り組みを強化</b>していき、<b>持続性ある対策に取り組んでいく必要がある</b>。</p>	広島県	【日本遺産甞る因島村上海賊島旅、ひろしまナイトミュージアムシリーズ】 ・宿泊などの滞在を促しリピーターに繋げるため、質と量を兼ねそろえた高付加価値プロダクト開発を推進し、現地消費額増に向けた取組みを進めている。
	徳島県	・400年以上の歴史を持つ「阿波踊り」について、「観光客の受け入れ整備」を推進。 ・令和5年度は、海外の阿波踊り連を招聘し、新たに「世界阿波踊りコンテスト」を開催し、阿波おどりの魅力を国内外に発信する取組を実施。※1
	愛媛県	・地域DMOによる高付加価値旅行商品の造成のほか、地域事業者による観光コンテンツの基盤整備を支援(集客力向上支援事業及びインバウンド受入環境整備事業)※1
	高知県	・広域観光組織による滞在型観光プランに基づく観光地域づくりの推進。※1 (例:宿泊施設から域内へ周遊を促す情報発信など)
<p>環境が整って観光客が増えたときに、<b>受入体制の方が取れているのかというところにもある程度、頭に置いておく必要</b>が出てくる。</p> <p>非常にいい状況になって来たときにそれに耐えられる受け入れ体制の整備について、<b>集客・誘客と同時に考えていく必要</b>がある。</p> <p><b>観光客が増えても受け入れるキャパシティ、人手不足</b>という話もあり、お客様は結構増えてきていて、予約も満タンに来るが、従業員を確保できないので、8割ぐらいで予約を押えているという話もよく聞く。<b>賑やかになればなるほど人材不足が深刻</b>になっていくので、観光に関しては、広い目線で見ると、その辺りも一緒に考えていく必要がある。</p>	広島県	【観光DX推進事業】 ・物価高騰や人手不足等の課題を抱える観光関連事業者の生産性向上を図るとともに、観光客の利便性を向上につなげるために行う観光DX推進事業。 ・DXツール導入に向けた事業者への推進活動、導入希望の事業者に対する助言やサービスの提案を行うとともに、必要な経費を支援(補助金交付)する事業。 【インバウンド観光誘客環境整備事業】 ・G7広島サミットを契機に回復が見込まれるインバウンドに対応するため、海外から広島へ来訪する観光客が感じる観光に関する受入環境のストレスや不満等を解消し、観光客の満足度向上に寄与するとともに、持続可能な観光の推進に資する受入環境の整備を実施する経費に対し、補助金を交付する事業。 【尾道の宿泊・観光施設改修事業】 ・ナショナルサイクルルートとして国内外のサイクリストに人気であるしまなみ海道でのサイクリングにおいて、今後、更にもてなしに磨きをかけるため、尾道市内の宿泊・観光施設を約16億円かけて改修する計画を策定。 ・観光庁の補助金を活用し、2024年までに尾道市街地や瀬戸田町を中心にサイクリストをはじめとした観光客が便利に使用できる施設改修を進め、更なる周遊につなげる。
	徳島県	・宿泊のキャパシティ拡大を図るため、既存宿泊施設のリノベーションへの支援に加え、県内宿泊施設の新増設(ホテル誘致)への支援(宿泊施設投資促進補助金、宿泊施設民間融資活用資金利子補給補助金)を行い、宿泊施設への投資を促進し、宿泊者数や観光消費額の拡大を図る。
	愛媛県	・民間事業者等が実施する観光コンテンツの魅力向上やインバウンド旅行客の誘客促進に寄与する取組みに必要な経費を支援(インバウンド受入環境整備事業)※1
	高知県	・「らんまん」の放送を契機に草花体感フィールド等へ来場する観光客の満足度向上と観光消費の拡大に資することを目的として、その受入環境を磨き上げる支援を市町村に対して実施。(例:遊歩道整備、看板設置、ガイド養成など)
	四国運輸局	・受け入れ環境整備に関する支援事業。(地域における受入環境整備促進事業、インバウンド安全・安心対策推進事業、地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化)
	<p><b>トイレの洋式化についても大事なことで進めていくべき</b>と思うし、<b>そもそもの数が足りているか</b>という話もある。</p>	徳島県
岡山県		・県所管の道の駅は、トイレの洋式化完了。
高知県		・トイレ洋式化に関する計画はなし。インバウンド需要の回復に備えた市町村が実施するトイレの洋式化については、一部補助を実施。※1
四国地整		・道の駅におけるインバウンド対応・交流促進の取組みとして道の駅のトイレ洋式化を推進(関係自治体も含め)。

令和5年度 第1回 環瀬戸内海地域交流促進協議会における委員の主な意見及び対応状況

意見内容	対応状況	
<p>2025年大阪・関西万博、あるいは瀬戸内国際芸術祭といったものを中心に、<u>起爆剤として観光需要の回復</u>に向かっていきたいと考えている。</p>	兵庫県	・2025年大阪・関西万博を機に、県全体をパビリオンに見立て、発信する「ひょうごフィールドパビリオン」を展開。
	広島県	【第20回世界パラ会議福山大会2025】 ・世界40か国が加盟する世界パラ会連合の最大の大会で、3年に1度開催する、ばらに関する国際会議。開催期間中には、「優秀庭園賞」などを決定する会議や、大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭を巡るプレツアーなどを開催予定。
	岡山県	・万博からの周遊を見据え、岡山DESTINATIONキャンペーンの成果を生かしながら、新たな企画・イベントやインバウンド対応、県内外に効果的かつ効率的なプロモーションを行う「アフターコロナ観光キャンペーン事業」を実施。
	徳島県	・関西パビリオン内の徳島県スペースにおける、「展示の設計」を進めるとともに、県内外の様々なイベントに万博ブースを出展し「万博への機運醸成」への取組を実施。
	香川県	・瀬戸内国際芸術祭の次回開催である2025年は、大阪・関西万博が開催される予定であり、万博ともあわせて交流人口の増加を目指している。
	愛媛県	・大阪・関西万博における自治体参加催事への出展のほか、大阪・関西万博を契機とした国内外からの誘客プロモーションを展開予定※1
	高知県	・「関西・高知経済連携強化戦略ver.3」を策定し、「観光推進」、「食品等外商拡大」、「万博・IR連携」の3つのプロジェクトに基づく取り組みと、各プロジェクトを横断的に支える取り組みを強化し、「オール高知」の態勢により展開。 ・本県へのインバウンド観光客の誘致拡大を目指して、国際定期便が受け入れ可能な新ターミナルビルを整備。
	本四高速	・「ひょうごフィールドパビリオン」への参画(兵庫県との連携) ・「究極の橋泊ツアー」の開催((公財)兵庫県園芸・公園協会との連携) ・せとうちアートエキスポ2025の開催((一財)本州四国連絡高速道路協会及びせとうち美術館ネットワーク 89参加施設との連携)
中国地整 四国地整	・西日本広域観光の推進	
<p>今回、多くの県や本四高速の「Setouchi Velo」など、サイクリングに関する取り組みの報告が今まで以上に多くあった。サイクリングはこれまでも力が入っていて前回から連携がテーマになっていたが、今回も連携の話が多く、これだけ盛り上がっているのも、「<u>サイクリング</u>」を一つのキーワードとして、やっていければいいと感じる。</p>	兵庫県	・令和5年度には4年ぶりとなる淡路島ロングライド150を9月18日に開催し、多くのサイクリストが出走したほか、大鳴門橋自転車道が事業化され、来年度の工事着工を目指している。
	岡山県	・県内のサイクリングの魅力を発信するプロジェクトとして「ハレいろ・サイクリング OKAYAMA」を展開中。公式Webサイトを充実させている。また、令和5年度から、8つの推奨ルート沿いに位置する飲食店・観光施設等で、休憩スペースの提供・おすすめメニュー展開などサイクリスト向けのおもてなしに協力いただける店舗・施設を「ハレいろサイクルカフェ」として登録する制度をスタート。
	広島県	【サイクリングしまなみ2024の開催】 ・2024年10月27日(日)にサイクリングしまなみ2024を開催予定。2024年は、しまなみ海道開通25周年を迎えることから、国際サイクリング大会を開催し、改めて世界における“サイクリストの聖地＝瀬戸内しまなみ海道”を情報発信することで存在感を示し、しまなみ海道エリアの交流人口の更なる拡大等を通じた地域の振興・活性化を図る。
	徳島県	・徳島県内のサイクリングルート「Tライン」について、デジタルマップの発行等充実化を図る。 ・海外からのサイクリスト誘客のため、多言語化(日本語・英語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字))したサイクリングマップを作成・配布
	愛媛県	・サイクリングしまなみ2024開催に係るPR ・グレーターしまなみ・えひめデジタルスタンプラリー及びイベントPR
	本四高速	【サイクリングの推進エリア化】 ・複数県にまたがるトライアルライド及び市町村ミーティング(MTG)の実施 ・「シェア・ザ・ロード」運動の推進 ・Setouchi Veloスポットの登録・発信 ・トライアルライド及び市町村MTGにおいてE-BIKEの体験乗車会等を開催

令和5年度 第1回 環瀬戸内海地域交流促進協議会における委員の主な意見及び対応状況

意見内容	対応状況	
瀬戸内海が日本で初めて国立公園に指定され、来年で90周年を迎えるにあたり、岡山、香川だけでなく、瀬戸内をもっと広く連携してもいいのと感じる。	岡山県	・瀬戸内海国立公園指定90周年記念【鷲羽山ウオーク】(開催日:令和6年3月16日) ・瀬戸内海国立公園指定90周年記念式典(開催時期:令和6年10月) ・国立公園魅力体験ツアーin笠岡諸島の実施 ・瀬戸内海フォトコンテスト・スタンプラリーの実施
	香川県	・瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業キックオフイベント【屋島ウオーク】
西日本高速道路(株)の取り組みで市町など自治体との連携を紹介してほしいと報告されていたので、各県におかれては市町村へPRして連携していただくよう伝えていただければと思う。	徳島県	・サイクリングイベント等において、県から市町村へイベント実施を提案
	高知県	・令和5年12月に南国SA下り線で開催された周遊企画について、県のSNSで発信することに加えて、県内の全市町村へPRを実施。※1

※1 本編には資料なし